

注3

大学番号：国042

[平成25年度設置]

計画の区分：学部^{注1}の学科の設置

注1

事前伺い

岐阜大学 工学部 機械工学科、化学・生命工学科、
電気電子・情報工学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岐阜大学
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 工学部

職名・氏名 総務係長 田中進^{タナカ ススム}

電話番号 058-293-2365

（夜間） 058-293-2365

FAX 058-293-3294

e-mail gjen00004@jim.gifu-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

1	調査対象大学等の概要	
(1)	設置者	1
(2)	大学名	1
(3)	大学の位置	1
(4)	管理運営組織	1
(5)	調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等	
(5)－①	調査対象学部等の名称、定員	2
(5)－②	調査対象学部等の入学者の状況	2
(5)－③	調査対象学部等の在学者の状況	5
(5)－④	調査対象学部等の退学者等の状況	7
2	授業科目の概要	
	<機械工学科>	
(1)	授業科目表	9
(2)	授業科目数	17
(3)	未開講科目	18
(4)	廃止科目	18
(5)	授業科目を未開講又は廃止したことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	18
(6)	「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	18
	<化学・生命工学科>	
(1)	授業科目表	19
(2)	授業科目数	26
(3)	未開講科目	27
(4)	廃止科目	27
(5)	授業科目を未開講又は廃止したことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	27
(6)	「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	27
	<電気電子・情報工学科>	
(1)	授業科目表	28
(2)	授業科目数	37
(3)	未開講科目	38
(4)	廃止科目	38
(5)	授業科目を未開講又は廃止したことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	38
(6)	「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	38
3	施設・設備の整備状況，経費（該当なし）	39
4	既設大学の状況	40
5	教員組織の状況	
(1)	担当教員表（該当なし）	43
(2)	専任教員数	44
(3)	専任教員辞任等の理由（該当なし）	45
(4)	専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」（該当なし）	45
6	留意事項に対する履行状況等（該当なし）	46
7	その他全般的事項	
(1)	設置計画変更事項等（該当なし）	47
(2)	教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）（該当なし）	47
(3)	自己点検・評価等に関する事項（該当なし）	48
(4)	情報公表に関する事項	48

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 岐阜大学

(2) 大 学 名

岐阜大学

(3) 大学の位置

〒501-1193

岐阜県岐阜市柳戸1番1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
理 事			
学 部 長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成 23 年度に報告済の内容 → (23)

平成 25 年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は，平成22年度開設の4年制の学科の場合（平成25年度までの4年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し，5年以上の場合には，欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部	年	人	3年次 人	人	
機械工学科 学士（工学）	4	130		520	
化学・生命工学科 学士（工学）	4	150	30 （学部全体）	600	
電気電子・情報工学科 学士（工学）	4	170		680	

- (注) ・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前的人数，変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

機械工学科

対象年度 区 分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 130 (—) [—]		人 人 () []		人 人 () []		人 人 () []		1.09倍	※平成25年度の留学生の入学者は，入学試験を課さない政府派遣留学生2名を含む。
志願者数	445 (—) [3]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	311 (—) [3]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	150 (—) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	142 (—) [2]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.09									

化学・生命工学科

区 分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 150 (—) [—]	人	人 () []	人	人 () []	人	人 () []	人	1.03倍	※平成25年度の留学生の入学者は、入学試験を課さない政府派遣留学生2名を含む。
志願者数	697 (—) [2]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	522 (—) [2]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	181 (—) [0]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	155 (—) [2]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.03									

電気電子・情報工学科

区 分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 170 (—) [—]	人	人 () []	人	人 () []	人	人 () []	人	0.95倍	
志願者数	762 (—) [5]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	558 (—) [4]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	190 (—) [2]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	162 (—) [0]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	0.95									

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出して**

- ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
- なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5)－③ 調査対象学部等の在学者の状況

機械工学科

対象年度 学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[2] 142	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2 年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3 年次					[]	[]	[]	[]	
4 年次							[]	[]	
計	[2] 142		[]		[]		[]		

化学・生命工学科

対象年度 学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[2] 155	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2 年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3 年次					[]	[]	[]	[]	
4 年次							[]	[]	
計	[2] 155		[]		[]		[]		

電気電子・情報工学科

電気電子情報工学科

対象年度 学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[-] 162	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2 年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3 年次					[]	[]	[]	[]	
4 年次							[]	[]	
計	[-] 162		[]		[]		[]		

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

機械工学科

区 分 対象年度	入学人数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学人数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	142 人	0 人	平成25年度	- 人	- 人		0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	142 人	0 人					0 %

化学・生命工学科

区 分 対象年度	入学人数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学人数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	155 人	0 人	平成25年度	- 人	- 人		0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	155 人	0 人					0 %

電気電子・情報工学科

区 分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数の 割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	162 人	0 人	平成25年度	- 人	- 人		0 %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	162 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜工学部 機械工学科＞

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
初年次セミナー <												

[illegible]

自然科学	教養の化学	1～4前後	2						兼14	
	現代化学	1～4前後	2						兼1	
	基礎化学			2					兼4	卒業要件外
	【生物学分野】									
	生物学入門	1～4前後	2						4 兼2	全学共通教育科目編成の変更(25)
	教養の生物学	1～4前後	2						12 兼20	全学共通教育科目編成の変更(25)
	現代生物学	1～4前後	2						兼7	
	基礎生物学	1前		2					兼2	卒業要件外 卒業要件外を追加(25)
	【医学分野】									
	教養の医学	1～4前後	2						兼4	
	現代医学	1～4前後	2						兼1	
	【宇宙地球科学分野】									
	宇宙地球科学入門	1～4前後	2						2 兼3	全学共通教育科目編成の変更(25)
	教養の宇宙地球科学	1～4前後	2						兼2	
	現代宇宙地球科学	1～4前後	2						兼2	
	【環境学分野】									
	教養の環境学	1～4前後	2						兼14	
	現代環境学	1～4前後	2						兼18	
	【自然科学総合分野】									
	自然科学総合	1～4前後	2						兼7	
	【実験講座分野】									
	自然科学実験講座	1～4前後	2						兼17	集中
	25			8					26	
	小計(23科目)	—	42	4					兼23	
教養科目	【情報と数理分野】									
	ITの歴史と未来	1～4前後	2						兼1	
	数値シミュレーション入門	1～4前後	2						兼1	
	情報分野における数学の活用	1～4前後	2						兼3	
	情報と物理	1～4前後	2						兼3	
	ものの科学	1～4前後	2						兼1	
	心を持つロボット	1～4前後	2						兼1	
	【生活と科学分野】									
	命・生活と看護									全学共通教育科目編成の変更による名称変更(25)
	生活・命と看護	1～4前後	2						兼3	
	社会の中の看護	1～4前後	2						兼5	
	食の教養	1～4前後	2						兼1	
	栄養と運動	1～4前後	2						兼1	
	生きた健康科学	1～4前後	2						兼10	
	交通安全の科学	1～4前後	2						兼8	
	医療と生命								1	全学共通教育科目編成の変更による名称変更(25)
	医療と生命I	1～4前後	2						兼2	
	医学史	1～4前後	2						兼12	
	健康とQOL	1～4前後	2						兼5	
	身近な薬と毒の科学	1～4前後	2						兼2	
	世界の農業事情	1～4前後	2						兼5	
	生物共生論	1～4前後	2						兼3	
	現代医療の最前線	1～4前後	2						兼14	
	環境マネジメントと環境経営	1～4前後	2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
	免疫学	1～4前後	2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
	感染症対策講座(代表的な感染症と対策)	1～4前後	2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
	感染症対策講座(ライフサイクルと感染症)	1～4前後	2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
	【岐阜学分野】									
	岐阜県の生活と文化	1～4前後	2						兼7	全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)

複合領域

岐阜県の生物の分布と生態	1～4前後		2							兼3		
現代のまちづくりと住民	1～4前後		2							兼4		
岐阜大学の教育研究と運営	1～4前後		2							兼14		
地域活性化システム論(まちづくりリーダー養成講座)	1～4前後		2							兼11		
岐阜の自然(地質・活断層と水環境)	1～4前後		2							兼3		
岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1～4前後		2							兼1		
御嶽・白山信仰とその文化	1～4前後		2							兼1		
岐阜県誌:岐阜県の歴史・文化・自然	1～4前後		2							兼4		
岐阜県の方言	1～4前後		2							兼1		
岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人	1～4前後		2							兼4		
【倫理と現代分野】												
技術と技術者の倫理Ⅰ	3前	2								兼8		複合領域から教養基礎へ移動(25)
技術と技術者の倫理Ⅱ	3前		2							兼14		複合領域から教養基礎へ移動(25)
技術と技術者の倫理Ⅲ	3後		2							兼8		複合領域から教養基礎へ移動(25)
技術と技術者の倫理Ⅳ	3後		2							兼11		複合領域から教養基礎へ移動(25)
循環型社会システム論	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
環境倫理学	1～4前後		2							兼1		
性	1～4前後		2							兼6		
【キャリア形成分野】												
ワーク・ライフ・バランス(男女共同参画論)	1～4前後		2							兼10		
自分らしいキャリア設計Ⅰ	1～4前後		2							1 兼5		全学共通教育科目編成の変更(25)
自分らしいキャリア設計Ⅱ	1～4前後		2							1 兼2		全学共通教育科目編成の変更(25)
職業意識概論	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)
現代社会を支える企業	1～4前後		2							兼1		
大学と社会の関係	1～4前後		2							兼2		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
私は社会でこう生きてきた	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)
社会人として生きるとは	1～4前後		2							兼6		全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)
社会観・職業観の育成と人生設計	1～4前後		2							兼6		全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)
生活と金融・人生設計と資産形成	1～4前後		2							兼1		
地域協働型インターンシップ	1～4前後		2							兼2		
働くルールと労働市場	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
社会の多様な働き方	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
キャリア形成論	1～4前後		2							兼2		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
ライフコース論(人生設計と生活保障)	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
47			94							47		
小計(46科目)	—	2	90							兼46		
【健康科学講義】												
スポーツと傷害予防	1～4前後		2							兼11		
健康科学(運動・栄養・休養と健康)	1～4前後		2							兼5		
健康科学	1～4前後		2							兼11		
スポーツトレーナーの科学(含実習)	1～4前後		2							兼1		
【スポーツ演習】												
スポーツの楽しさとルール	1～4前後		2							兼1		
ソフトボールBⅠ	1～4前後		2							兼1		
ファストピッチ・ソフトボール	1～4前後		2							兼1		
太極拳	1～4前後		2							兼2		
ヨガ・エアロビクス	1～4前後		2							兼1		
卓球	1～4前後		2							兼5		
卓球・水泳	1～4前後		2							兼4		
新卓球(ラージボール)	1～4前後		2							兼2		
テニスⅠ	1～4前後		2							兼1		
テニスⅡ	1～4前後		2							兼4		
バドミントンAⅠ	1～4前後		2							兼1		
ハンドボール	1～4前後		2							兼1		

スポーツ・健康科学	ハンドボールⅣ	1～4前後		2						兼1		
	ハンドボールⅤ	1～4前後		2						兼1		
	ボールゲームⅠ	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)	
	ボールゲームⅡ	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)	
	バスケットボールA	1～4前後		2						兼1		
	バスケットボールB	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)	
	バレーボールA										全学共通教育科目編成の変更による名称変更(25)	
	バレーボールで学ぶ	1～4前後		2						兼1		
	バレーボールB										全学共通教育科目編成の変更による名称変更(25)	
	バレーボールで学ぶⅡ	1～4前後		2						兼1		
	スポーツと人間Ⅰ	1～4前後		2						兼1		
	スポーツと人間Ⅱ	1～4前後		2						兼1		
	女子サッカーA	1～4前後		2						兼1		
	女子サッカーB	1～4前後		2						兼1		
	サッカー	1～4前後		2						兼1		
	ラグビー	1～4前後		2						兼1		
	ジョギングⅡ	1～4前後		2						兼1		
	トレーニング	1～4前後		2						兼1		
	水泳	1～4前後		2						兼4		
	水上スポーツで学ぶ(カヌー)	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)	
	雪上スポーツで学ぶ(スキー)	1～4前後		2						兼6		
	雪上スポーツで学ぶⅡ(スキー)	1～4前後		2						兼6		
	剣道Ⅰ	1～4前後		2						兼1		
	柔道Ⅰ	1～4前後		2						兼1		
	柔道Ⅲ	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)	
	37			74						36		
	小計(36科目)	—		72						兼35		
英語	英語1	1前	1							20 兼19	全学共通教育科目編成の変更(25)	
	英語2	1後	1							24 兼22	全学共通教育科目編成の変更(25)	
	英語3	2前	1							兼14		
	英語4	2後	1							兼11		
	小計(4科目)	—	4							兼12		
第二外国語	ドイツ語Ⅰ	1前		1						兼7		
	ドイツ語Ⅱ	1後		1						9 兼7	全学共通教育科目編成の変更(25)	
	フランス語Ⅰ	1前		1						兼3		
	フランス語Ⅱ	1後		1						兼3		
	ポルトガル語Ⅰ	1前		1						兼1		
	ポルトガル語Ⅱ	1後		1						兼1		
	中国語Ⅰ	1前		1						兼6		
	中国語Ⅱ	1後		1						7 兼6	全学共通教育科目編成の変更(25)	
	朝鮮・韓国語Ⅰ	1前		1						兼1		
	朝鮮・韓国語Ⅱ	1後		1						兼1		
	小計(10科目)	—		10						兼10		
日本語・日本事情	日本語DⅠ	1～4前後		1						兼1	留学生のみ	
	日本語DⅡ	1～4前後		1						兼1	留学生のみ	
	日本語DⅢ	1～4前後		1						兼1	留学生のみ	
	日本事情AⅠ	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	日本事情AⅡ	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	日本事情CⅠ	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	日本事情CⅡ	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	クロスカルチャー・コミュニケーション	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	小計(8科目)	—		13						兼8		

教養基礎	社会基盤工学概論 ※	1前	1							兼8		
	機械工学概論 ※	1前	1			4	4					
	化学・生命工学概論 ※	1後	1							兼8		
	電気電子・情報工学概論 ※	1後	1							兼8		
	技術と技術者の倫理Ⅰ	3前	2	2						兼8		複合領域から教養基礎へ移動、かつ学科別に科目名を指定(25)
	技術と技術者の倫理Ⅱ	3前	2	2						兼14		複合領域から教養基礎へ移動、かつ学科別に科目名を指定(25)
	技術と技術者の倫理Ⅲ	3後		2						兼8		複合領域から教養基礎へ移動(25)
	技術と技術者の倫理Ⅳ	3後		2						兼11		複合領域から教養基礎へ移動(25)
	8		6	6						38		
	小計(4科目)	—	4			4	4			兼24		
基礎科目	微分積分Ⅰ ※	1前	2							兼2		
							2					担当科目の学部内調整のため、担当教員を変更(25)
	微分積分Ⅱ	1後	2							兼2		
	線形代数Ⅰ ※	1前	2							兼2		
						1	1					担当科目の学部内調整のため、担当教員を変更(25)
	線形代数Ⅱ	1後	2							兼2		
	微分方程式	2前	2							兼2		
	確率統計 ※	1後	2			1	1			兼2		担当科目の学部内調整のため、担当教員を変更(25)
	力学	1前	2			2						
		1後	2									教育効果の充実のため、配当年次等を変更(25)
	電磁気学基礎	2前		2						兼2		
		2前										教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	振動波動	2後		2		1				兼1		
		3後										教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	現代物理学概論	4前		2						兼2		
	化学基礎	2前		2						兼2		
		3前										教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	生物学基礎	2後		2						兼2		
		2後										教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	地学	4前		2						兼2		
							2					担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	情報処理入門 ※	1前	2						2			
		2前	2									教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	プログラミング基礎	4後		2					1	兼1		
	工学基礎実験	2後	1						2			
	機械英語Ⅰ	3前	2							兼2		
	機械英語Ⅱ	3後	2							兼2		
	技術表現法 ※	2前	2			1				兼1		
		3後										教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	環境エネルギー概論	2後		2		1				兼1		
	技術経営概論	4前		2						兼2		
	海外インターンシップ	1～4前後		2								新設(25)
	22		27	16			5		3	13		
	小計(21科目)	—	23	18		6	1		5	兼15		
	数学演習Ⅰ	1前	1				1		1			担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
									2			担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	数学演習Ⅱ	1後	1			1			1			担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	力学演習	1前	1				2					教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
		2前										教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	複素関数フーリエ変換	2後		2		2						
	工業力学	1後	2			2						

[illegible]

ス 科 目	生産システム学	3前		2		1							
	ロボット工学	3後		2		1							
		3後 3前		2		1							教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	制御工学Ⅲ			2		1							
	応用流体工学	3前		2			1						
	応用熱工学	3前		2			1						
	生体システム工学	3後		2			1						
	小計(16科目)	—	6	22		7	5		5				
金 型 創 成 技 術 科 目		4後 4前		2		3					兼1		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	金型概論			2		3					兼1		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	金型設計基礎	4後 4前		2		1	1		1		兼1		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	金型設計実習	4後 4前		1		1	1		1		兼1		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	金型加工実習Ⅰ	4後 4前		1		1	1		1		兼1		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	金型加工実習Ⅱ	4後 4前		1		1	1		1		兼1		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	成形加工実習	4後 4前		1		1	1		1		兼1		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	小計(6科目)	—		8		8	5		5		兼6		
教 職 科 目	職業指導	4通			4						兼1		
	小計(1科目)	—			4						兼1		
275			80	426	12						255		
機械コース合計(265科目)			76	414	8	12	7		6		兼250		
276			80	428	12						255		
知能機械コース合計(266科目)			76	416	8	7	5		5		兼250		

※印は8クラスに分け4クラス同時開講

- (注)・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

<機械コース>

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 45	科目 217	科目 3	科目 265	科目 48 [3]	科目 222 [5]	科目 5 [2]	科目 275 [10]	

<知能機械コース>

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 45	科目 218	科目 3	科目 266	科目 48 [3]	科目 223 [5]	科目 5 [2]	科目 276 [10]	

(注)・ 未開講である場合や、配当年度に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	岐阜県の生活と文化	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
2	職業意識論	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
3	私は社会でこう生きてきた	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
4	社会人として生きるとは	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
5	社会観・職業観の育成と人生設計	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
6	水上スポーツで学ぶ（カヌー）	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
7	柔道Ⅲ	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

一般教養にかかる科目の廃止は多岐に亘るスポーツ演習科目とキャリア形成科目が中心であり、新設科目もあるため履修への影響は極めて少ないと考えている。また、学生への周知方法は、入学時のガイダンスで配付する履修手引き（全学共通教育履修案内）に最初から記載されていないため、全く影響はないと考えている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	7		
設置時の計画の授業科目数の計	265	=	0.02

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

＜工学部 化学・生命工学科＞

(1) 授業科目表

[illegible]

社会科学	【法学分野】										2		全学共通教育科目編成の変更(25)	
	法学入門	1～4前後	2								兼4			
	日本国憲法	1～4前後	2								兼4			
	民事法	1～4前後	2								兼2			
	社会法	1～4前後	2								兼1			
	ジェンダー法	1～4前後	2								兼2			
	裁判法	1～4前後	2								兼1			
	刑事法	1～4前後	2								兼1			
	国際法	1～4前後	2								兼2			
	知的財産権法	1～4前後	2								兼2			
	【政治学分野】													
	政治学入門	1～4前後	2								兼1			
	現代政治論	1～4前後	2								兼3			
	平和学	1～4前後	2								兼2			
	【経営学分野】													
	経済学入門	1～4前後	2								兼2			
	経済学史	1～4前後	2								兼1			
	財政学	1～4前後	2								兼1			
	国際経済論	1～4前後	2								兼1			
	マクロ経済学	1～4前後	2								兼1			
	ミクロ経済学	1～4前後	2								兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)	
	経営学入門	1～4前後	2								兼2			
	マネージメント論	1～4前後	2								兼1			
	【社会学分野】													
	社会学入門	1～4前後	2								兼1			
	現代社会論	1～4前後	2								兼13			
	メディア論	1～4前後	2								兼2			
	広報・PR論入門	1～4前後	2								兼5			
	【地理・地域論分野】													
	地理学入門	1～4前後	2								兼1			
	地理学	1～4前後	2								兼3			
	地域論	1～4前後	2								兼1			
	【教育学分野】													
	教育論	1～4前後	2								7 兼9		全学共通教育科目編成の変更(25)	
	【社会・総合】													
	社会総合	1～4前後	2								2 兼6		全学共通教育科目編成の変更(25)	
	29			58							29			
	小計(28科目)	—		56							兼28			
		【数学分野】												
		教養の数学	1～4前後	2								兼2		
		基礎代数学	1～4前後	2								兼2		
		基礎解析学	1～4前後	2								兼3		
		基礎統計学	1～4前後	2								兼1		
基礎数学		1前		2							兼1	卒業要件外	卒業要件外を追加(25)	
【物理学分野】														
物理学入門		1～4前後	2								兼2			
教養の物理学		1～4前後	2								6 兼10		全学共通教育科目編成の変更(25)	
現代物理学		1～4前後	2								兼1			
基礎物理学				2							2 兼4	卒業要件外	全学共通教育科目編成の変更(25)	
【化学分野】														
											5		全学共通教育科目編成の変更(25)	

自然科学	教養の化学	1～4前後	2						兼14	
	現代化学	1～4前後	2						兼1	
	基礎化学			2					兼4	卒業要件外
	【生物学分野】									
	生物学入門	1～4前後	2						4 兼2	全学共通教育科目編成の変更(25)
	教養の生物学	1～4前後	2						12 兼20	全学共通教育科目編成の変更(25)
	現代生物学	1～4前後	2						兼7	
	基礎生物学	1前		2					兼2	卒業要件外 卒業要件外を追加(25)
	【医学分野】									
	教養の医学	1～4前後	2						兼4	
	現代医学	1～4前後	2						兼1	
	【宇宙地球科学分野】									
	宇宙地球科学入門	1～4前後	2						2 兼3	全学共通教育科目編成の変更(25)
	教養の宇宙地球科学	1～4前後	2						兼2	
	現代宇宙地球科学	1～4前後	2						兼2	
	【環境学分野】									
	教養の環境学	1～4前後	2						兼14	
	現代環境学	1～4前後	2						兼18	
	【自然科学総合分野】									
	自然科学総合	1～4前後	2						兼7	
	【実験講座分野】									
	自然科学実験講座	1～4前後	2						兼17	集中
	25			8					26	
	小計(23科目)	—	42	4					兼23	
教養科目	【情報と数理分野】									
	ITの歴史と未来	1～4前後	2						兼1	
	数値シミュレーション入門	1～4前後	2						兼1	
	情報分野における数学の活用	1～4前後	2						兼3	
	情報と物理	1～4前後	2						兼3	
	ものの科学	1～4前後	2						兼1	
	心を持つロボット	1～4前後	2						兼1	
	【生活と科学分野】									
	命・生活と看護									全学共通教育科目編成の変更による名称変更(25)
	生活・命と看護	1～4前後	2						兼3	
	社会の中の看護	1～4前後	2						兼5	
	食の教養	1～4前後	2						兼1	
	栄養と運動	1～4前後	2						兼1	
	生きた健康科学	1～4前後	2						兼10	
	交通安全の科学	1～4前後	2						兼8	
	医療と生命								1	全学共通教育科目編成の変更による名称変更(25)
	医療と生命I	1～4前後	2						兼2	
	医学史	1～4前後	2						兼12	
	健康とQOL	1～4前後	2						兼5	
	身近な薬と毒の科学	1～4前後	2						兼2	
	世界の農業事情	1～4前後	2						兼5	
	生物共生論	1～4前後	2						兼3	
	現代医療の最前線	1～4前後	2						兼14	
	環境マネジメントと環境経営	1～4前後	2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
	免疫学	1～4前後	2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
	感染症対策講座(代表的な感染症と対策)	1～4前後	2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
	感染症対策講座(ライフサイクルと感染症)	1～4前後	2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
	【岐阜学分野】									
	岐阜県の生活と文化	1～4前後	2						兼7	全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)

複合領域

岐阜県の生物の分布と生態	1～4前後		2							兼3		
現代のまちづくりと住民	1～4前後		2							兼4		
岐阜大学の教育研究と運営	1～4前後		2							兼14		
地域活性化システム論(まちづくりリーダー養成講座)	1～4前後		2							兼11		
岐阜の自然(地質・活断層と水環境)	1～4前後		2							兼3		
岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1～4前後		2							兼1		
御嶽・白山信仰とその文化	1～4前後		2							兼1		
岐阜県誌:岐阜県の歴史・文化・自然	1～4前後		2							兼4		
岐阜県の方言	1～4前後		2							兼1		
岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人	1～4前後		2							兼4		
【倫理と現代分野】												
技術と技術者の倫理Ⅰ	3前	2								兼8		複合領域から教養基礎へ移動(25)
技術と技術者の倫理Ⅱ	3前		2							兼14		複合領域から教養基礎へ移動(25)
技術と技術者の倫理Ⅲ	3後		2							兼8		複合領域から教養基礎へ移動(25)
技術と技術者の倫理Ⅳ	3後		2							兼11		複合領域から教養基礎へ移動(25)
循環型社会システム論	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
環境倫理学	1～4前後		2							兼1		
性	1～4前後		2							兼6		
【キャリア形成分野】												
ワーク・ライフ・バランス(男女共同参画論)	1～4前後		2							兼10		
自分らしいキャリア設計Ⅰ	1～4前後		2							1 兼5		全学共通教育科目編成の変更(25)
自分らしいキャリア設計Ⅱ	1～4前後		2							1 兼2		全学共通教育科目編成の変更(25)
職業意識概論	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)
現代社会を支える企業	1～4前後		2							兼1		
大学と社会の関係	1～4前後		2							兼2		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
私は社会でこう生きてきた	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)
社会人として生きるとは	1～4前後		2							兼6		全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)
社会観・職業観の育成と人生設計	1～4前後		2							兼6		全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)
生活と金融・人生設計と資産形成	1～4前後		2							兼1		
地域協働型インターンシップ	1～4前後		2							兼2		
働くルールと労働市場	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
社会の多様な働き方	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
キャリア形成論	1～4前後		2							兼2		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
ライフコース論(人生設計と生活保障)	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
47			94							47		
小計(46科目)	—	2	90							兼46		
【健康科学講義】												
スポーツと傷害予防	1～4前後		2							兼11		
健康科学(運動・栄養・休養と健康)	1～4前後		2							兼5		
健康科学	1～4前後		2							兼11		
スポーツトレーナーの科学(含実習)	1～4前後		2							兼1		
【スポーツ演習】												
スポーツの楽しさとルール	1～4前後		2							兼1		
ソフトボールBⅠ	1～4前後		2							兼1		
ファストピッチ・ソフトボール	1～4前後		2							兼1		
太極拳	1～4前後		2							兼2		
ヨガ・エアロビクス	1～4前後		2							兼1		
卓球	1～4前後		2							兼5		
卓球・水泳	1～4前後		2							兼4		
新卓球(ラージボール)	1～4前後		2							兼2		
テニスⅠ	1～4前後		2							兼1		
テニスⅡ	1～4前後		2							兼4		
バドミントンAⅠ	1～4前後		2							兼1		
ハンドボール	1～4前後		2							兼1		

スポーツ・健康科学	ハンドボールⅣ	1～4前後		2						兼1		
	ハンドボールⅤ	1～4前後		2						兼1		
	ボールゲームⅠ	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)	
	ボールゲームⅡ	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)	
	バスケットボールA	1～4前後		2						兼1		
	バスケットボールB	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)	
	バレーボールA										全学共通教育科目編成の変更による名称変更(25)	
	バレーボールで学ぶ	1～4前後		2						兼1		
	バレーボールB										全学共通教育科目編成の変更による名称変更(25)	
	バレーボールで学ぶⅡ	1～4前後		2						兼1		
	スポーツと人間Ⅰ	1～4前後		2						兼1		
	スポーツと人間Ⅱ	1～4前後		2						兼1		
	女子サッカーA	1～4前後		2						兼1		
	女子サッカーB	1～4前後		2						兼1		
	サッカー	1～4前後		2						兼1		
	ラグビー	1～4前後		2						兼1		
	ジョギングⅡ	1～4前後		2						兼1		
	トレーニング	1～4前後		2						兼1		
	水泳	1～4前後		2						兼4		
	水上スポーツで学ぶ(カヌー)	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)	
	雪上スポーツで学ぶ(スキー)	1～4前後		2						兼6		
	雪上スポーツで学ぶⅡ(スキー)	1～4前後		2						兼6		
	剣道Ⅰ	1～4前後		2						兼1		
	柔道Ⅰ	1～4前後		2						兼1		
	柔道Ⅲ	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)	
	37			74						36		
	小計(36科目)	—		72						兼35		
英語	英語1	1前	1							20 兼19	全学共通教育科目編成の変更(25)	
	英語2	1後	1							24 兼22	全学共通教育科目編成の変更(25)	
	英語3	2前	1							兼14		
	英語4	2後	1							兼11		
	小計(4科目)	—	4							兼12		
第二外国語	ドイツ語Ⅰ	1前		1						兼7		
	ドイツ語Ⅱ	1後		1						9 兼7	全学共通教育科目編成の変更(25)	
	フランス語Ⅰ	1前		1						兼3		
	フランス語Ⅱ	1後		1						兼3		
	ポルトガル語Ⅰ	1前		1						兼1		
	ポルトガル語Ⅱ	1後		1						兼1		
	中国語Ⅰ	1前		1						兼6		
	中国語Ⅱ	1後		1						7 兼6	全学共通教育科目編成の変更(25)	
	朝鮮・韓国語Ⅰ	1前		1						兼1		
	朝鮮・韓国語Ⅱ	1後		1						兼1		
	小計(10科目)	—		10						兼10		
日本語・日本事情	日本語DⅠ	1～4前後		1						兼1	留学生のみ	
	日本語DⅡ	1～4前後		1						兼1	留学生のみ	
	日本語DⅢ	1～4前後		1						兼1	留学生のみ	
	日本事情AⅠ	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	日本事情AⅡ	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	日本事情CⅠ	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	日本事情CⅡ	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	クロスカルチャー・コミュニケーション	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	小計(8科目)	—		13						兼8		

教養基礎	社会基盤工学概論 ※	1前	1							兼8		
	機械工学概論 ※	1前	1			4	4					
	化学・生命工学概論 ※	1後	1							兼8		
	電気電子・情報工学概論 ※	1後	1							兼8		
	技術と技術者の倫理Ⅰ	3前	2	2						兼8		複合領域から教養基礎へ移動、かつ学科別に科目名を指定(25)
	技術と技術者の倫理Ⅱ	3前	2	2						兼14		複合領域から教養基礎へ移動、かつ学科別に科目名を指定(25)
	技術と技術者の倫理Ⅲ	3後	2	2						兼8		複合領域から教養基礎へ移動、かつ学科別に科目名を指定(25)
	技術と技術者の倫理Ⅳ	3後		2						兼11		複合領域から教養基礎へ移動(25)
	8		6	6						38		
	小計(4科目)	—	4			4	4			兼24		
基礎科目	微分積分Ⅰ ※	1前	2							兼2		
	微分積分Ⅱ	1後		2						兼2		
	線形代数Ⅰ ※	1前	2							兼2		
	線形代数Ⅱ	1後		2						兼2		
	微分方程式	2前 4後		2						兼2		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	確率統計 ※	1後	2							兼2		
	力学※※	1前		2						兼2		
	電磁気学基礎※※	2前		2						兼2		
	振動波動※※	1後 2後		2						兼2		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	現代物理学概論	2前		2						兼2		
	化学基礎	1前	2			2 +	+					担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	生物学基礎	1前	2			3 +	1					担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	地学	2前 4前		2						兼2		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	情報処理入門 ※	1前	2							兼2		
	プログラミング基礎	2前 4後		2						兼2		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	工学基礎実験	2前 2後	1							兼2		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	化学英語Ⅰ											科目名称の変更(25)
	化学工学英語Ⅰ	3前	2							兼2		
	化学英語Ⅱ											科目名称の変更(25)
	化学工学英語Ⅱ	3後	2							兼2		
	技術表現法 ※	2前	2							兼2		
	環境エネルギー概論	2後 4前		2						兼2		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	技術経営概論	4前		2						兼2		
	海外インターンシップ	1～4前後		2								新設(25)
	22			24		5	1					
	小計(21科目)	—	19	22		2	2			兼38		
学科共通科目	基礎物理化学Ⅰ	1後	2			1 2	1		1		2クラス開講	担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	基礎物理化学Ⅱ	2前	2			2	1				2クラス開講	
	基礎無機化学	2前	2			1	1		1		2クラス開講	
	基礎分析化学	2前	2			1	1				2クラス開講	
	基礎有機化学Ⅰ	1後	2			2	1				2クラス開講	
	基礎有機化学Ⅱ	2前	2			1	2				2クラス開講	
	基礎生物化学	2前	2			1	3				2クラス開講	
	基礎化学実験	2後	2			22	19		17		各教員	

専門科目	課題セミナーⅠ	4前	1			22	19		17			各教員	
		4後	1			22	19		17			各教員	
		4通	8			22	19		17			各教員	
		小計(11科目)	—	26		22	19		17				
	物質化学コース科目	量子化学 a	2後	2		1			1				
		固体化学	2後	2			1						
		無機化学	2後 3前	2		1							教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
		分析化学 a	2後	2			1						
		機器分析a 機器分析	3後	1						兼1			科目名称の変更(25)
		有機化学Ⅰa	2後	2			1						
		有機化学Ⅱa	3前	2			1						
		有機機器分析	3後	1			1		1				
		高分子合成	2後	2		1	1						
		高分子物性Ⅰ	3前	2			2						
		化学工学Ⅰ	2後	2		2			2				
		化学環境安全工学	2後	2			1						
		物質化学演習	2後 3前	1		13	11		10			各教員	教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
		物質化学実験Ⅰ	3前	5		13	11		10			各教員	
		物質化学実験Ⅱ	3後	3		13	11		10			各教員	
		分子分光学※※※	3前 3後		2	1							教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
		集合体化学※※※	3後 3前		2	1							教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
		固体物性※※※	3前		2	1							
		電子材料化学※※※	3後		2	2							
		材料の力学※※※	2後		2	1			1				
		機能材料学※※※	3後		2	2			1				
		電気化学	3後		1		1						
		無機工業化学	3後		1		1						
		有機工業化学	3後		2	1							
		高分子物性Ⅱ	3後		2	2							
		化学工学Ⅱ	3前		2		1						
		化学工学Ⅲ	3後		2	1							
		小計(27科目)	—	31	22	13	11		10		兼1		
	生命化学コース科目	有機化学Ⅰb	2後	2		1	1						
		有機化学Ⅱb	3前	2		1	1						
		物理化学Ⅰ	2後	2			1						
		機器分析b 機器分析	2後	2		9	8		7			各教員	科目名称の変更(25)
		生物化学	2後	2		1	1						
		細胞分子生物学	2後	2			2						
		生物生産工学	2後	2		1							
		生命化学実験Ⅰ	3前	4		9	8		7			各教員	
		生命化学実験Ⅱ	3後	4		9	8		7			各教員	
		量子化学 b	2後		2	1							
		物理化学Ⅱ	3後		2	1							
		基礎生理学	2後		2					兼1			
		化学安全工学	3前		2		1			兼1			
		生物有機化学	3前		2		2						
		精密有機化学	3前		2	1							
		分析化学 b	3前		2	1							
		遺伝子工学	3前		2	1							
		細胞生物学	3前		2	1							

	有機合成化学	3後		2		1							
	医薬品化学	3後		2		1							
	生命情報科学	3後		2		1							
	醗酵工学	3後		2			1						
	小計(22科目)	—	22	26		9	8		7		兼2		
金 型 創 成 技 術 科 目	金型概論	4後 4前		2							兼4		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	金型設計基礎	4後 4前		2							兼4		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	金型設計実習	4後 4前		1							兼4		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	金型加工実習Ⅰ	4後 4前		1							兼4		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	金型加工実習Ⅱ	4後 4前		1							兼4		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	成形加工実習	4後 4前		1							兼4		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	小計(6科目)	—		8							兼24		
	職業指導	4通			4						兼1		
教 職 科 目	小計(1科目)	—			4						兼1		
268				414	12						289		
物質化学コース合計(258科目)			88	398	8	13	11		10		兼284		
263				418	12						290		
化学生命コース合計(253科目)			79	402	8	9	8		7		兼285		

※印は8クラスに分け4クラス同時開講

※※は3科目中2科目選択必修

※※※は6科目中3科目選択必修

(注)・設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- ・なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
- ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
- ・「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

<物質化学コース>

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
45	210	3	258	46	217	5	268	
				[1]	[7]	[2]	[10]	

<化学生命コース>

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
39	211	3	253	40	218	5	263	
				[1]	[7]	[2]	[10]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	岐阜県の生活と文化	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
2	職業意識論	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
3	私は社会でこう生きてきた	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
4	社会人として生きるとは	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
5	社会観・職業観の育成と人生設計	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
6	水上スポーツで学ぶ（カヌー）	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
7	柔道Ⅲ	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

一般教養にかかる科目の廃止は多岐に亘るスポーツ演習科目とキャリア形成科目が中心であり、新設科目もあるため履修への影響は極めて少ないと考えている。また、学生への周知方法は、入学時のガイダンスで配付する履修手引き（全学共通教育履修案内）に最初から記載されていないため、全く影響はないと考えている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	7	=	0.02
設置時の計画の授業科目数の計	258		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

＜工学部 電気電子・情報工学科＞

(1) 授業科目表

[illegible]

[illegible]

自然科学	教養の化学	1～4前後	2						兼14	
	現代化学	1～4前後	2						兼1	
	基礎化学			2					兼4	卒業要件外
	【生物学分野】									
	生物学入門	1～4前後	2						4 兼2	全学共通教育科目編成の変更(25)
	教養の生物学	1～4前後	2						12 兼20	全学共通教育科目編成の変更(25)
	現代生物学	1～4前後	2						兼7	
	基礎生物学	1前		2					兼2	卒業要件外 卒業要件外を追加(25)
	【医学分野】									
	教養の医学	1～4前後	2						兼4	
	現代医学	1～4前後	2						兼1	
	【宇宙地球科学分野】									
	宇宙地球科学入門	1～4前後	2						2 兼3	全学共通教育科目編成の変更(25)
	教養の宇宙地球科学	1～4前後	2						兼2	
	現代宇宙地球科学	1～4前後	2						兼2	
	【環境学分野】									
	教養の環境学	1～4前後	2						兼14	
	現代環境学	1～4前後	2						兼18	
	【自然科学総合分野】									
	自然科学総合	1～4前後	2						兼7	
	【実験講座分野】									
	自然科学実験講座	1～4前後	2						兼17	集中
	25			8					26	
	小計(23科目)	—	42	4					兼23	
教養科目	【情報と数理分野】									
	ITの歴史と未来	1～4前後	2						兼1	
	数値シミュレーション入門	1～4前後	2						兼1	
	情報分野における数学の活用	1～4前後	2						兼3	
	情報と物理	1～4前後	2						兼3	
	ものの科学	1～4前後	2						兼1	
	心を持つロボット	1～4前後	2						兼1	
	【生活と科学分野】									
	命・生活と看護									全学共通教育科目編成の変更による名称変更(25)
	生活・命と看護	1～4前後	2						兼3	
	社会の中の看護	1～4前後	2						兼5	
	食の教養	1～4前後	2						兼1	
	栄養と運動	1～4前後	2						兼1	
	生きた健康科学	1～4前後	2						兼10	
	交通安全の科学	1～4前後	2						兼8	
	医療と生命								1	全学共通教育科目編成の変更による名称変更(25)
	医療と生命I	1～4前後	2						兼2	
	医学史	1～4前後	2						兼12	
	健康とQOL	1～4前後	2						兼5	
	身近な薬と毒の科学	1～4前後	2						兼2	
	世界の農業事情	1～4前後	2						兼5	
	生物共生論	1～4前後	2						兼3	
	現代医療の最前線	1～4前後	2						兼14	
	環境マネジメントと環境経営	1～4前後	2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
	免疫学	1～4前後	2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
	感染症対策講座(代表的な感染症と対策)	1～4前後	2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
	感染症対策講座(ライフサイクルと感染症)	1～4前後	2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
	【岐阜学分野】									
	岐阜県の生活と文化	1～4前後	2						兼7	全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)

複合領域

岐阜県の生物の分布と生態	1～4前後		2							兼3		
現代のまちづくりと住民	1～4前後		2							兼4		
岐阜大学の教育研究と運営	1～4前後		2							兼14		
地域活性化システム論(まちづくりリーダー養成講座)	1～4前後		2							兼11		
岐阜の自然(地質・活断層と水環境)	1～4前後		2							兼3		
岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1～4前後		2							兼1		
御嶽・白山信仰とその文化	1～4前後		2							兼1		
岐阜県誌:岐阜県の歴史・文化・自然	1～4前後		2							兼4		
岐阜県の方言	1～4前後		2							兼1		
岐阜の森や川、そこに生きる生き物たちと人	1～4前後		2							兼4		
【倫理と現代分野】												
技術と技術者の倫理Ⅰ	3前	2								兼8		複合領域から教養基礎へ移動(25)
技術と技術者の倫理Ⅱ	3前		2							兼14		複合領域から教養基礎へ移動(25)
技術と技術者の倫理Ⅲ	3後		2							兼8		複合領域から教養基礎へ移動(25)
技術と技術者の倫理Ⅳ	3後		2							兼11		複合領域から教養基礎へ移動(25)
循環型社会システム論	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
環境倫理学	1～4前後		2							兼1		
性	1～4前後		2							兼6		
【キャリア形成分野】												
ワーク・ライフ・バランス(男女共同参画論)	1～4前後		2							兼10		
自分らしいキャリア設計Ⅰ	1～4前後		2							1 兼5		全学共通教育科目編成の変更(25)
自分らしいキャリア設計Ⅱ	1～4前後		2							1 兼2		全学共通教育科目編成の変更(25)
職業意識概論	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)
現代社会を支える企業	1～4前後		2							兼1		
大学と社会の関係	1～4前後		2							兼2		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
私は社会でこう生きてきた	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)
社会人として生きるとは	1～4前後		2							兼6		全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)
社会観・職業観の育成と人生設計	1～4前後		2							兼6		全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)
生活と金融・人生設計と資産形成	1～4前後		2							兼1		
地域協働型インターンシップ	1～4前後		2							兼2		
働くルールと労働市場	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
社会の多様な働き方	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
キャリア形成論	1～4前後		2							兼2		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
ライフコース論(人生設計と生活保障)	1～4前後		2							兼1		全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)
47			94							47		
小計(46科目)	—	2	90							兼46		
【健康科学講義】												
スポーツと傷害予防	1～4前後		2							兼11		
健康科学(運動・栄養・休養と健康)	1～4前後		2							兼5		
健康科学	1～4前後		2							兼11		
スポーツトレーナーの科学(含実習)	1～4前後		2							兼1		
【スポーツ演習】												
スポーツの楽しさとルール	1～4前後		2							兼1		
ソフトボールBⅠ	1～4前後		2							兼1		
ファストピッチ・ソフトボール	1～4前後		2							兼1		
太極拳	1～4前後		2							兼2		
ヨガ・エアロビクス	1～4前後		2							兼1		
卓球	1～4前後		2							兼5		
卓球・水泳	1～4前後		2							兼4		
新卓球(ラージボール)	1～4前後		2							兼2		
テニスⅠ	1～4前後		2							兼1		
テニスⅡ	1～4前後		2							兼4		
バドミントンAⅠ	1～4前後		2							兼1		
ハンドボール	1～4前後		2							兼1		

スポーツ・健康科学	ハンドボールⅣ	1～4前後		2						兼1		
	ハンドボールⅤ	1～4前後		2						兼1		
	ボールゲームⅠ	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)	
	ボールゲームⅡ	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)	
	バスケットボールA	1～4前後		2						兼1		
	バスケットボールB	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目追加(25)	
	バレーボールA										全学共通教育科目編成の変更による名称変更(25)	
	バレーボールで学ぶ	1～4前後		2						兼1		
	バレーボールB										全学共通教育科目編成の変更による名称変更(25)	
	バレーボールで学ぶⅡ	1～4前後		2						兼1		
	スポーツと人間Ⅰ	1～4前後		2						兼1		
	スポーツと人間Ⅱ	1～4前後		2						兼1		
	女子サッカーA	1～4前後		2						兼1		
	女子サッカーB	1～4前後		2						兼1		
	サッカー	1～4前後		2						兼1		
	ラグビー	1～4前後		2						兼1		
	ジョギングⅡ	1～4前後		2						兼1		
	トレーニング	1～4前後		2						兼1		
	水泳	1～4前後		2						兼4		
	水上スポーツで学ぶ(カヌー)	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)	
	雪上スポーツで学ぶ(スキー)	1～4前後		2						兼6		
	雪上スポーツで学ぶⅡ(スキー)	1～4前後		2						兼6		
	剣道Ⅰ	1～4前後		2						兼1		
	柔道Ⅰ	1～4前後		2						兼1		
	柔道Ⅲ	1～4前後		2						兼1	全学共通教育科目編成の変更による科目廃止(25)	
	37			74						36		
	小計(36科目)	—		72						兼35		
英語	英語1	1前	1							20 兼19	全学共通教育科目編成の変更(25)	
	英語2	1後	1							24 兼22	全学共通教育科目編成の変更(25)	
	英語3	2前	1							兼14		
	英語4	2後	1							兼11		
	小計(4科目)	—	4							兼12		
第二外国語	ドイツ語Ⅰ	1前		1						兼7		
	ドイツ語Ⅱ	1後		1						9 兼7	全学共通教育科目編成の変更(25)	
	フランス語Ⅰ	1前		1						兼3		
	フランス語Ⅱ	1後		1						兼3		
	ポルトガル語Ⅰ	1前		1						兼1		
	ポルトガル語Ⅱ	1後		1						兼1		
	中国語Ⅰ	1前		1						兼6		
	中国語Ⅱ	1後		1						7 兼6	全学共通教育科目編成の変更(25)	
	朝鮮・韓国語Ⅰ	1前		1						兼1		
	朝鮮・韓国語Ⅱ	1後		1						兼1		
	小計(10科目)	—		10						兼10		
日本語・日本事情	日本語DⅠ	1～4前後		1						兼1	留学生のみ	
	日本語DⅡ	1～4前後		1						兼1	留学生のみ	
	日本語DⅢ	1～4前後		1						兼1	留学生のみ	
	日本事情AⅠ	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	日本事情AⅡ	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	日本事情CⅠ	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	日本事情CⅡ	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	クロスカルチャー・コミュニケーション	1～4前後		2						兼1	留学生のみ	
	小計(8科目)	—		13						兼8		

教養基礎	社会基盤工学概論 ※	1前	1							兼8		
	機械工学概論 ※	1前	1			4	4					
	化学・生命工学概論 ※	1後	1							兼8		
	電気電子・情報工学概論 ※	1後	1							兼8		
	技術と技術者の倫理Ⅰ	3前	2		2					兼8		複合領域から教養基礎へ移動、かつ学科別に科目名を指定(25)
	技術と技術者の倫理Ⅱ	3前	2		2					兼14		複合領域から教養基礎へ移動、かつ学科別に科目名を指定(25)
	技術と技術者の倫理Ⅲ	3後	2		2					兼8		複合領域から教養基礎へ移動、かつ学科別に科目名を指定(25)
	技術と技術者の倫理Ⅳ	3後	2		2					兼11		複合領域から教養基礎へ移動、かつ学科別に科目名を指定(25)
	8		6	6						38		
	小計(4科目)	—	4			4	4			兼24		
基礎科目	微分積分Ⅰ ※	1前	2			2	1		1			担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	微分積分Ⅱ	1後	2			2	1		1			担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	線形代数Ⅰ ※	1前	2			1	1		1			担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	線形代数Ⅱ	1後	2			1	1		2			担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	微分方程式	2前	2			1	1		1			
	確率統計 ※	1後	2			1	2		1		兼1	担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	力学	1前	2			1	1		1			担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	電磁気学基礎	1後	2			1	1		1			担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	振動波動	2前		2		1					兼2	
	現代物理学概論	4前		2		2					兼1	
	化学基礎	2前		2							兼3	
	生物学基礎	2後		2							兼3	
	地学	1前		2							兼3	
	情報処理入門 ※	1前	2				3				兼1	担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	プログラミング基礎	1後	2			1	1		1		兼1	担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	工学基礎実験	1前	1				1		1		兼1	担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	電気電子・情報英語Ⅰ	3前	2								兼3	
	電気電子・情報英語Ⅱ	3後	2								兼3	
	技術表現法 ※	2前	2			1					兼2	
	環境エネルギー概論	2後		2							兼2	
	技術経営概論	4前		2		1					兼1	
	海外インターンシップ	1～4前後		2								新設(25)
	22			16								
	小計(21科目)	—	27	14		14	12		9		兼26	
	微分方程式応用	2後		2		1					2クラス	
	応用数学Ⅰ	2前	2			1						教員免許状課程認定に関連して選択科目へ変更(25)
	物理数学基礎	1前		2		1	1					担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	量子力学概論	2前		2		1						
	統計力学概論	2後		2		1						
		2前										教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)

学科共通科目	電気回路学基礎	1後		2		1	1											
		2後																教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	電子回路学基礎	2前		2		1	1											
		2前・3前																電・物2前、情3前
	数値解析	3前・2後		2		1	1											教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
						1												担当科目の学科内調整のため、担当教員を変更(25)
	情報数学	1後		2		2												
	プログラミング応用	2前		2			1											
	通信工学	3後		2		1												
	信号処理	3前		2		1												
	情報理論	2後		2		1												
		2後																教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	制御工学基礎	3前		2		1					1							
	光学	3前		2		1												
		3後																教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	計算機支援設計製図	4前		2			1											
	卒業研究	4通	8			25	28		12									
		8	32															
小計(17科目)	—	10	30		25	28		12										
電気電子コース	電磁気学Ⅱ	2前	2			1												
	電磁気学Ⅲ	2後	2			1												
	電磁気学演習Ⅰ	1後	1				2											
	電磁気学演習Ⅱ	2前	1				2											
	電磁気学演習Ⅲ	2後	1				2											
		2後																教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	電気回路学Ⅱ	2前					1											教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	電気回路学演習Ⅰ	1後					2											教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
		2後																教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	電気回路学演習Ⅱ	2前	1				1		1									教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
		3前																教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	電子回路学Ⅱ	2後	2				1											教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	電子回路学演習Ⅰ	2前	1						2									教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
		3前																教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	電子回路学演習Ⅱ	2後	1						2									教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	電気電子工学実験Ⅰ	2前	2						2									
	電気電子工学実験Ⅱ	2後	2				2											
	電気電子工学実験Ⅲ	3前	2				1		1									
	電気電子工学実験Ⅳ	3後	2				1		1									
	電気電子英語	4前後	2								兼1							廃止(25)
	固体電子物性	2後		2			1											
	半導体工学	3前		2		1												
	デバイス工学	3後		2		1												
	磁性材料工学	3前		2		1												
	半導体プロセス工学	3後		2		1												
	超伝導入門																	科目名称変更(25)
	超伝導工学	3前		2		1												
	誘電体工学	3後		2			1											
	電力工学基礎	2後		2		1												
	電力ネットワーク	3後		2		1												
	電気エネルギーシステム工学	3後		2			1											
	電気機器	3前		2			1											
パワーエレクトロニクス	3後		2			1												
電気電子計測学	3前		2		1													
電気法規と施設管理	4前		2							兼1								

専

[illegible]

応用物理コース科目	基礎数学セミナー											教員免許状課程認定申請の理由により、科目名称変更(25)
	応用物理セミナーⅠ	2後	2			3	4		1			
	数理モデリング実践											教員免許状課程認定申請の理由により、科目名称変更(25)
	応用物理セミナーⅡ	3前	2			3	3		2			
	応用物理セミナー											教員免許状課程認定申請の理由により、科目名称変更(25)
	応用物理セミナーⅢ	3後	2			5	9		3			
	基礎数学演習Ⅰ	2前	1						1			
	基礎数学演習Ⅱ	2前	1						1			
	基礎数学演習Ⅲ	2後 3後										教員免許状課程認定申請の理由により、配当年次変更(25)
	基礎数学演習Ⅲ		1						1			
	応用物理学演習Ⅰ	2前	1				1					
	応用物理学演習Ⅱ	2後	1				1					
	応用物理学演習Ⅲ	3前	1				1					
	幾何学	3前 3後	2									教員免許状課程認定申請の理由により、配当年次等変更(25)
	幾何学			2		1						
	応用数学Ⅱ	2後		2		1						教員免許状課程認定申請の理由により、必修科目へ変更(25)
	統計力学	3前		2		1						
	ダイナミカルシステム	3後		2		2						
	現代物理学	3後		2			1					
	数理物理	4前		2		1						
	ナノスケール工学	4前		2			1					
	流体・弾性体力学	3前		2		1						
	原子核・素粒子物理学	3後		2			2					
	宇宙電波工学	3後		2			1					
	代数学	3前		2			1					教員免許状課程認定申請の理由により新設(25)
	32			26								
	小計(31科目)	—	32	24		5	9		3			
金型創成技術科目	金型概論	4後 4前		2						兼4		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	金型設計基礎	4後 4前		2						兼4		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	金型設計実習	4後 4前		1						兼4		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	金型加工実習Ⅰ	4後 4前		1						兼4		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	金型加工実習Ⅱ	4後 4前		1						兼4		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	成形加工実習	4後 4前		1						兼4		教育効果の充実のため、配当年次を変更(25)
	小計(6科目)	—		8						兼24		
	職業指導	4通			4					兼1		
教職科目	小計(1科目)	—			4					兼1		
電気電子コース合計(273科目)			70	456	12					278		
			74	438	8	11	11		5	兼273		
情報工学コース合計(257科目)			59	444	12					276		
			77	410	8	9	8		4	兼271		
応用物理コース合計(268科目)			79	442	12					276		
			84	422	8	5	9		3	兼271		

※印は8クラスに分け4クラス同時開講

(注)・設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。

- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

<電気電子コース>

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 41	科目 229	科目 3	科目 273	科目 40 [△ 1]	科目 237 [8]	科目 5 [2]	科目 282 [9]	

<情報工学コース>

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 39	科目 215	科目 3	科目 257	科目 31 [△ 8]	科目 231 [16]	科目 5 [2]	科目 267 [10]	

<応用物理コース>

設置時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 44	科目 221	科目 3	科目 268	科目 44 []	科目 230 [9]	科目 5 [2]	科目 279 [11]	

(注)・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	岐阜県の生活と文化	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
2	職業意識論	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
3	私は社会でこう生きてきた	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
4	社会人として生きるとは	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
5	社会観・職業観の育成と人生設計	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
6	水上スポーツで学ぶ（カヌー）	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
7	柔道Ⅲ	2	1～4 前後	一般	選択	新設科目をもって同分野の授業科目を提供する。代替措置はない。
8	電気電子英語	2	4 通年	専門	必修	研究室単位で従来から実施しているため取り下げる。代替措置はない。

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

一般教養にかかる科目の廃止は多岐に亘るスポーツ演習科目とキャリア形成科目が中心であり、新設科目もあるため履修への影響は極めて少ないと考えている。一方、電気電子英語は従来のものを新設科目として計画書に記載したが、取り下げるため履修への影響は極めて少ないと考えている。また、学生への周知方法は、入学時のガイダンスで配付する履修手引き（全学共通教育履修案内・授業案内及び工学部便覧）に最初から記載されていないため、全く影響はないと考えている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	8	=	
設置時の計画の授業科目数の計	273		0.02

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数		(例) 平成25年4月 専任教員1名を新規 採用のため(25)			
	〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 15 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	岐 阜 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	取 定 容 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
<学部>	年	人	年次 人	人		倍			
教育学部								岐阜県岐阜市柳戸 1 番1	
学校教育教員養成課程	4	230		920	学士（教育学）	1.05	平成10年度		
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	学士（教育学）	1.06	昭和40年度		平成19年度、養護学校教 員養成課程から名称変更
生涯教育課程	4	—		—	学士（教育学）	—	平成10年度		平成23年度から学生募集停止
地域科学部								岐阜県岐阜市柳戸 1 番1	
			3年次						
地域政策学科	4	50	5	210	学士（地域科学）	1.07	平成18年度		
			3年次						
地域文化学科	4	50	5	210	学士（地域科学）		平成18年度		
医学部								岐阜県岐阜市柳戸 1 番1	
医学科	6	107		642	学士（医学）	1.05	昭和39年度		
			3年次						
看護学科	4	80	10	340	学士（看護学）	1.03	平成12年度		平成13年度より学生受入
工学部								岐阜県岐阜市柳戸 1 番1	
社会基盤工学科	4	60		240	学士（工学）	1.12	平成3年		平成14年度、土木工学科 から名称変更
機械工学科	4	130		520	学士（工学）	1.09	平成25年度		
化学・生命工学科	4	150		600	学士（工学）	1.03	平成25年度		
電気電子・情報工学科	4	170		680	学士（工学）	0.95	平成25年度		
機械システム工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
応用化学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成9年度		平成14年度、応用機微化学から名称変更 平成25年度から学生募集停止
電気電子工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
生命工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
応用情報学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成9年度		平成25年度から学生募集停止
機能材料工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
人間情報システム工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
数理デザイン工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成14年度		平成25年度から学生募集停止
			3年次						
（各学科共通）	4		30	60	学士（工学）	—			
応用生物科学部								岐阜県岐阜市柳戸 1 番1	
			3年次						

応用生命科学課程	4	80	5	330	学士（応用生物学）	1.03	平成16年度	平成23年度、食品生命科学課程から名称変更
			3年次					
生産環境科学課程	4	80	5	330	学士（応用生物学）	1.03	平成16年度	
共同獣医学科	6	30		180	学士（獣医学）	1.03	平成25年度	
獣医学課程	6	—		—	学士（獣医学）	—	平成16年度	平成25年度から学生募集停止
<大学院>								
教育学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1
教職大学院課程								
教職実践開発専攻	2	20		40	教職修士（専門職）	0.98	平成20年度	
修士課程								
心理発達支援専攻	2	11		22	修士（教育学）	1.19	平成20年度	
カリキュラム開発専攻	2	—		—	修士（教育学）	—	平成14年度	平成25年度から学生募集停止
総合教科教育専攻	2	38		76	修士（教育学）	1.08	平成25年度	
教科教育専攻	2	—		—	修士（教育学）	—	平成7年度	平成25年度から学生募集停止
地域科学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1
修士課程								
地域政策専攻	2	12		24	修士（地域科学）	0.63	平成13年度	
地域文化専攻	2	8		16	修士（地域科学）	1.38	平成13年度	
医学系研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1
修士課程								
看護学専攻	2	8		16	修士（看護学）	0.56	平成17年度	
博士課程								
医科学専攻	4	47		188	博士（医学）	0.68	平成14年度	
博士前期課程								
再生医科学専攻	2	11		22	修士（再生医科学）	0.86	平成14年度	
博士後期課程								
再生医科学専攻	3	6		18	博士（再生科学）	0.28	平成14年度	
工学研究科								岐阜県岐阜市柳戸1番1
博士前期課程								
社会基盤工学専攻	2	29		58	修士（工学）	1.02	平成3年	平成18年度、土木工学専攻から名称変更
機械システム工学専攻	2	34		68	修士（工学）	1.24	平成3年	平成13年度、機械工学専攻から名称変更
応用化学専攻	2	26		52	修士（工学）	1.23	平成13年度	平成18年度、応用精密化学専攻から名称変更
電気電子工学専攻	2	29		58	修士（工学）	0.88	平成13年度	
生命工学専攻	2	29		58	修士（工学）	1.09	平成13年度	
応用情報学専攻	2	33		6	修士（工学）	1.32	平成13年度	
機能材料工学専攻	2	26		52	修士（工学）	1.21	平成18年度	
人間情報システム工学専攻	2	24		48	修士（工学）	1.17	平成18年度	
数理デザイン工学専攻	2	13		26	修士（工学）	1.08	平成18年度	
環境エネルギーシステム専攻	2	32		64	修士（工学）	1.02	平成11年度	

博士後期課程								
生産開発システム工学専攻	3	7	21	博士（工学）	1.62	平成3年度		
物質工学専攻	3	3	9	博士（工学）	1.89	平成3年度		
電子情報システム工学専攻	3	4	12	博士（工学）	1.42	平成3年度		
環境エネルギーシステム専攻	3	13	39	博士（工学）	0.26	平成11年度		平成13年度より学生受入
応用生物科学研究科							岐阜県岐阜市柳戸1番1	
修士課程								
応用生命科学専攻	2	45	90	修士（応用生物学）	0.97	平成20年度		平成25年度、資源生命科学専攻から名称変更
生産環境科学専攻	2	44	88	修士（応用生物学）	1.14	平成20年度		平成25年度、生物環境科学専攻から名称変更
連合農学研究科							岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程								
生物生産科学専攻	3	7	21	博士（農学）	0.52	平成3年度		
生物環境科学専攻	3	5	15	博士（農学）	1.60	平成3年度		
生物資源科学専攻	3	8	24	博士（農学）	1.17	平成3年度		
連合獣医学研究科							岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程								
獣医学専攻	4	20	80	博士（獣医学）	1.48	平成2年度		
連合創薬医療情報研究科							岐阜県岐阜市柳戸1番1	
博士課程								
創薬科学専攻	3	3	9	博士（工学又は薬科学）	0.78	平成19年度		
医療情報学専攻	3	3	9	博士（医科学又は薬科学）	1.11	平成19年度		

（注）・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。

（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「一」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<〇〇学部 △△学科>

(1) 担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例)					兼任	講師	◆◆◆ (〇〇)	平成23年4月	国際経済学	平成23年3月 〇〇〇〇教授辞任のため 平成23年度より担当者の 変更(23)
専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成22年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◇◇◇ (〇〇)	平成23年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (〇〇)	平成23年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成23年4月	商 法						……………のため、就任が遅延 (23)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成24年10月	金 融 論			後任未定			平成24年10月 □□□□准教授就任辞退(25) 「後任未定」平成25年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲ (〇〇)	平成25年4月	〇〇〇〇論	平成25年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(25)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - ・ なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数
 <工学部 機械工学科>

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
19 (18)	12 (14)	0 (0)	11 (9)	42 (41)	18 [△1]	14 [2]	0 [0]	9 [△2]	41 [△1]	65歳	0名

<工学部 化学・生命工学科>

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
22 (21)	19 (16)	0 (0)	17 (15)	58 (52)	21 [△1]	16 [△3]	0 [0]	15 [△2]	52 [△6]	65歳	0名

<工学部 電気電子・情報工学科>

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
25 (24)	28 (28)	0 (0)	12 (12)	65 (64)	24 [△1]	28 [0]	0 [0]	12 [0]	64 [△1]	65歳	0名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、
 「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画
 との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員
 として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<工学部>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位、選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目 (1 科 有 2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室を それぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに、図書も〇〇冊 増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況 (教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・・・・・・・・

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例）

- ・平成25年5月1日 公表

b 公表方法

記入例）

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成25年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例）

- ・平成25年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

（ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表予定時期

（ 平成25年 9月 1日 ）